

関西外国語大学短期大学部に対する認証評価結果

I 評価結果

評価の結果、貴短期大学は本協会の短期大学基準に適合していると認定する。

認定の期間は2027（令和9）年3月31日までとする。

II 総 評

貴短期大学部は、1945（昭和20）年に大阪市東住吉区に創立された「谷本英学院」を嚆矢とし、1953（昭和28）年に「関西外国語短期大学」として開学した。1966（昭和41）年に法人内に「関西外国語大学」が創設され、1992（平成4）年には短期大学を「関西外国語大学短期大学部」に名称変更した。建学の理念として、「国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成」と「公正な世界観に基づき、時代と社会の要請に応じていく実学」を掲げ、キャンパスの整備・移転を進めながら、現在は大阪府枚方市に英米語学科を設置し、教育研究活動を展開している。

2012（平成24）年度に、一般財団法人短期大学基準協会による短期大学認証評価で受けた退学者減少に向けた取組みの充実、学生指導・支援面での向上に関する指摘については、クラス担任との個別面談やリメディアル教育である「パワーアップ講座」等を実施することで対応してきたほか、研究活動の発表機会の増加に関する指摘については、「研究論集」の発行や研究フォーラムを定期的に開催するなど、概ね適切に対応しており、一定の成果が認められる。

今回の認証評価では、貴短期大学部の目的及び英米語学科の人材養成目的の実現に向けて、国際社会に貢献できる言語運用能力と人間力、教養をそなえた人材を育成するための諸活動に学長のリーダーシップのもとで取り組んでいることが確認できた。特に、専門必修科目として「K. G. C. ベーシックス」を開講し、社会で必要な基礎的知識の修得や総合的人間力の養成に努めていることは、貴短期大学部の特徴として高く評価できる。また、英語力向上と国際感覚を身につけることを目的に、学位留学プログラムを含むさまざまな留学制度を設け、多数の学生に留学の機会を提供していることや、英語必修科目を担当する教員からなる「学修コーディネーション・コミッティ」を組織し、英語の授業内容の平準化や充実を図り、教育効果を高める工夫を行っていることは、貴短期大学部の目的に沿うものであり、今後の益々の深化と発展を期待したい。

一方で課題としては、社会連携・社会貢献や運営業務における教員の資質向上に向

けたファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）が十分に行われていないこと、学生支援方針が明文化されていないこと、教員のスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）への参加率が低いことがあげられる。また、単位の実質化を図るため、履修登録単位数の上限を設定しているが、一部科目を上限から除外していることから、この措置が形骸化しないように留意されたい。今後は、外部評価や学外者からの意見聴取の活用などによって、客観性の高い内部質保証システムを構築することで、貴短期大学部のさらなる発展につなげていくことを期待する。

III 各基準の概評及び提言

1 理念・目的

<概評>

貴短期大学部の目的として「建学の理念に則り、公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応えていく実学の教授研究を通して、国際社会に貢献できる豊かな教養を備えた人材を育成すること」を学則に掲げている。また、中長期ビジョンである「外大ビジョン・6つの柱」と、その行動規範としての「関西外大入行動憲章」を明示している。英米語学科の人材養成目的については「英語を中心とした言語運用能力の向上を図るとともに、日本と世界のなかで交流するとき求められる人間力と教養を高め、実践的な職業人または国内外の学士課程教育でより高度な専門性や教養を考究できる人材の育成を目的とする」ことを、学則に定めている。この英米語学科の人材養成の目的は、貴短期大学部の目指すべき方向性を明確に示すものであると判断できる。

貴短期大学部の目的及び英米語学科の人材養成目的について、学生に対しては入学時のガイダンスで配付するリーフレットや、学則や履修規程等を掲載した冊子『各種規程』を用いて説明を行っている。さらに、ホームページ等に掲載することで、学生のみならず、保護者及び社会に対して周知を図っている。

短期大学部の取組みの適切性については、学則に規定する委員会及び「事務組織分掌規程」に規定する事務組織（部署）が、各委員会・事務組織ごとに設けられた「専門別自己点検・評価委員会」として点検・評価を行っている。理念・目的の適切性については、教育活動の検証の一環として「全学教務委員会」及び「教務委員会」がそれぞれ「専門別自己点検・評価委員会」として点検・評価し、その結果をもとに「自己点検・評価委員会」が必要な改善を指示している。

2 教育研究組織

<概評>

関西外国語大学短期大学部

建学の理念・目的を実現するため、英米語学科を設置している。加えて、併設する関西外国語大学と共同で「図書館学術情報センター」「国際文化研究所」「人権教育思想研究所」「教職教育センター」「イベロアメリカ研究センター」等附置研究所及びセンターを設けている。これら教育研究組織は、学生の教育・研究を支える組織として機能しており、理念・目的の達成にふさわしい教育研究組織として評価できる。

教育研究組織の適切性については、「全学教務委員会」及び「教務委員会」がそれぞれ「専門別自己点検・評価委員会」として点検・評価し、その結果をもとに「自己点検・評価委員会」が必要な改善を指示している。

3 教員・教員組織

<概評>

貴短期大学部における求める教員像は、「関西外大の教員像」として、建学の理念及び目的を踏まえ、「大学、大学院、ならびに短期大学部の人材養成目的を実現するための教育・研究ならびに大学運営に専心し、優れた研究業績に基づき社会に貢献しつつ自らの研鑽を続け、『関西外大行動憲章』に従い、学生の成長を促す者」であることを明文化している。また、「教員組織の編制方針」を併設大学と合わせ、「教育研究上の専門分野等バランスを考慮しつつ、各学部・学科等の教育上の目的等を効果的に実現するため必要な教員体制を諸規程に基づき適正な基準、手続きにより教員募集、採用、昇任を行うことで実現する」と定めている。これらの方針についてはホームページ等で学内外に公表している。

教員組織については、法令に定められた必要数を満たしており、専任教員の年齢構成についても、概ね適切である。また、専門教育のうち英語科目については習熟度別に少人数クラスを編成していることから、専任教員の担当比率は低くなっているものの「学修コーディネーション・コミッティ」を置き、授業内容の調整や担当者間の調整・指導を行うことで教育の質を担保している。その他必修科目の「K. G. C. ベーシックス」については、全て専任教員が担当する体制を備えている。

教員の募集・任免・昇格については、「教育職員の採用と職位の決定に関する規程」及び「教育職員の資格の基準に関する内規」を定めている。

教員の募集については、「教務委員会」が教員の配置を検討するにあたって、学長が定年等による退職予定者数、教員組織構成上の必要性等を踏まえ、採用人数等を検討のうえ、公募等の採用計画を立案し、ホームページ等を用いて行っている。海外から直接教員を募集する際には、提携大学等の幅広い国際ネットワークを活用している。また、教員採用にあたっては、書類審査の後、学長は自らが委員長を務め

る「教育職員人事委員会」に候補者の適格性について諮問して答申を受け、その後、学長が指名した教授若干名による審査会に教育研究業績の審査を付託することとなる。学長の付託を受けた審査会は、候補者の人格、学歴、職歴、教育研究上の業績についての審査を行い、候補者の適格性について学長に報告し、学長はその報告に関して、教授のみで構成する教授会において意見を聴取した上で判断を行っている。理事会は学長からの報告に基づき候補者の任用を審議決定のうえ、教員の採用と職位を決定し、理事長が発令することとなっている。昇任については、「教育職員の資格の基準に関する内規」の基準を満たす昇任候補者が「教育職員人事委員会」に諮られ、採用手続と同様のプロセスを経て決定されている。ただし、「教育職員人事委員会」の議長を務める学長に「教育職員人事委員会」が答申していることについては、透明性・客観性の担保に疑義が生じる可能性があるため、この点を常に留意することが望まれる。

教員の資質向上のための取組みとしては、「FD委員会」において、年度初めに全学的な活動方針を決定したうえで、授業公開や教員研修会を行っているほか、「FD委員会」が推薦する教員が教育改善に係るテーマに基づく発表を行う「FDワークショップ」等を実施している。教育研究及び学生指導等において功績があった教員に「ベスト・ティーチャー賞」等のインセンティブを与えていることは、教育研究の意欲を引き出す方法といえる。一方で、社会貢献等の教員に求められる諸活動に関する資質向上を図る取組みについて、「人権研修会」等の実施はみられるものの、十分に行われているとは言えないことから、今後より一層の取組みを期待したい。また、教員の教育研究及び社会活動に関する業績評価の結果は、昇任等に活用されているが、「教育職員人事委員会」において定めた評価の目安は明文化されていないことから、公正な評価のために基準の公開が望まれる。

併設大学との人的交流については、合同で開催するFD活動の場を通じて情報交換を行っているほか、「全学教務委員会」や「学生部委員会」等の合同委員会を組織するなど、全学的に教育研究活動ができるよう運営が行われている。

教員組織の編制の適切性については、「教務委員会」「全学教務委員会」及び「学修コーディネーション・コミッティ」が、FD活動の適切性については「FD委員会」が、それぞれ「専門別自己点検・評価委員会」として点検・評価し、その結果をもとに「自己点検・評価委員会」が必要な改善を指示している。

4 教育内容・方法・成果

(1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

<概評>

関西外国語大学短期大学部

建学の理念・目的に基づき、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）として「実用的な英語力」「論理的思考力、考え抜く力、チームで働く力などの人間力、ならびに幅広い教養」等の課程修了にあたって習得しておくべき学習成果を適切に定めている。また、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）として、「K. G. C. ベーシックス」「国際コミュニケーション科目群」「サービス・ホスピタリティ科目群」を設けることや、「ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークなどの教育方法を活用したアクティブ・ラーニング型授業」を行うこと等が明確に定められている。以上のことから、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針は連関していると判断できる。

学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針は、ホームページにおいて公表しているほか、学生に対しては入学時の履修ガイダンス、教員に対しては教員採用時のガイダンス等において説明している。

学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針の適切性については、「全学教務委員会」が「専門別自己点検・評価委員会」として点検・評価し、その結果をもとに「自己点検・評価委員会」が必要な改善を指示している。この結果、2017（平成29）年度には3つの方針について再整理が行われた。

（2）教育課程・教育内容

<概評>

教育課程は、専門教育科目と共通教育科目から成り、このうち専門教育科目は、専門必修科目と専門選択科目に区分されている。教育課程の編成・実施方針に基づき、専門選択科目は、「編入学準備科目群」・「国際コミュニケーション科目群」及び「サービス・ホスピタリティ科目群」から構成され、また共通教育科目は、「教養教育科目群」・「言語教育科目群」及び「教職英語教育科目群」に分類されており、学生が卒業後に目指すキャリアに合わせて、実用的な英語力と、文化、歴史、社会に関する幅広い教養、社会で必要な人間力等をバランスよく学ぶための教育課程を編成している。

これら科目は、順次性と体系性をもたせるため、ナンバリングされており、学生には履修ガイダンスを通じて周知している。これによって、主体的かつ体系的な学習計画に役立つ仕組みができています。

また、幅広い国際ネットワークを生かし、最短2年半で海外の協定校の準学士号も併せて取得できる「短期大学部学位留学プログラム」等多様な留学プログラムを設けている。2015（平成27）年度の入学生より、1年以上の長期留学を希望する学生のために、共通科目として「留学概論」の単位取得を義務付けることで、学生が

留学に必要な知識や自覚と責任、異文化適応能力などを身につけたうえで渡航することができるよう、教育課程を整備している。

教育課程の適切性については、「全学教務委員会」が「専門別自己点検・評価委員会」として点検・評価し、その結果をもとに「自己点検・評価委員会」が必要な改善を指示している。

(3) 教育方法

<概評>

教育課程の編成・実施方針に基づき、講義、演習、実習等の授業形態により教育が行われている。また、プロジェクト型学習をはじめとするアクティブ・ラーニングを重視しているほか、海外留学の推奨、クラス担任制による順次的・発展的な学修のための支援・指導等を行っている。

専門必修科目の「K. G. C. ベーシックス」はクラス担任が授業を担当し、独自に編集した共通テキストを用いて、多岐にわたる授業を展開している。具体的には、1年次にプレゼンテーションの方法やレポートの書き方等を教授する情報リテラシー教育のほか、ライフプランニングや時事問題を取り扱うキャリア教育を行い、2年次にはグループワークやプレゼンテーションといったアクティブ・ラーニングを実施している。加えて、各学期の授業終了時には、学生自身が「学修ルーブリック」を用いて学習成果を自己評価することで、能力の修得状況を確認し学習に役立っているほか、クラス担任は「学修ルーブリック」を面談に活用し、履修相談を行っている。この結果、学生の問題解決能力やコミュニケーション能力が向上していることが確認できることに加え、卒業時の進路未決定者数が年々減少するなどの効果が表れており、2年間を通じて広く社会に必要な知識や人間力を養成していることは、高く評価できる。

単位制度を実質化するための措置として、各学期に修得できる単位の上限を設定している。ただし、単位数の上限設定を超えて履修することができる除外科目があることから、単位の实質化を図るための措置が形骸化しないよう、留意されたい。

シラバスについては、「講義概要」「到達目標」「評価基準」「授業計画・授業外学習」等の項目が設けられた統一した様式を用い、ホームページで公表している。科目担当者が作成したシラバスは「教務委員会」において確認を行っているほか、同委員会において、各授業がシラバスに基づき適正に行われているかについて学生アンケートを実施し、検証している。さらに、「K. G. C. ベーシックス」では、担当者による情報共有と課題を協議するための機会として、「K. G. C. FD」を開催し、教育内容と方法の点検・改善を行っている。また、英語必修科目について、

関西外国語大学短期大学部

担当教員間の情報共有及び該当科目のシラバスの点検を独自に行う「学修コーディネーション・コミッティ」が組織されていることは、評価できる。

成績評価は、学則及び履修規程に基づき適切に行っており、単位認定については「教務委員会」が行い、最終的には学長が承認し決定している。既修得単位の認定については、短期大学設置基準に基づいて学則及び履修規程に定める 24 単位を超えない範囲で行われている。このほか、留学による単位については、留学先が発行した成績証明書及び学生が提出する履修報告書の内容を踏まえ、学内の開講科目の授業内容と一致又は類似・近接するものを単位認定している。インターンシップやボランティア活動については、学生からの活動報告書及び活動先責任者の評価・承認に基づき、それぞれの活動時間数に応じた単位認定が行われている。

<提言>

一 長所として特記すべき事項

- 1) 独自に編集した共通テキストを用いる「K. G. C. ベーシックス」において、1 年次には情報リテラシー教育やライフプランニング及び時事問題を取り扱うキャリア教育を行うことで基礎力を養い、2 年次には授業内でグループワークやプレゼンテーション等のアクティブ・ラーニングを実践することで、問題解決力やコミュニケーション力を向上させている。この成果は、各学期の授業終了時に学生が学習成果を自己評価する「学修ルーブリック」の結果から確認でき、広く社会で必要な知識や人間力を養成するものとして、評価できる。

(4) 成果

<概評>

卒業要件については、学則に定め、入学時に、卒業要件等を記載した履修規程を含む各種規程や手引き、マニュアル等を入学者全員に配付するとともに、各学期開始前の履修ガイダンスにおいて学生に説明し、周知を図っている。学位授与については、卒業要件を充足した学生に対して、「教務委員会」が判定作業を行い、教授会での審議を経て学長が決定し、授与している。

学習成果を測定する評価指標のひとつとして「学修ルーブリック」を開発し、3 つの力（コミュニケーション力、社会適応力、問題解決力）と 9 つの能力要素（英語運用力、外国語基礎力、異文化理解力、自律的行動力、共生・協働力、キャリア形成力、情報活用力、批判的・論理的思考力、問題解決のために行動する力）について検証を行い、履修指導等に活用している。加えて、進路決定率や留学派遣実績、英語力の向上を学習成果の指標としている。

教育内容・方法の改善に向けては、「FD委員会」を主体として全授業科目を対象に、各学期終了後に学生による「授業アンケート」を実施している。「授業アンケート」の結果は「FD委員会」で分析し、学内ウェブサイトにて教職員及び学生に公表しているほか、FD活動を行う際の資料として活用している。

5 学生の受け入れ

<概評>

理念・目的を踏まえ、学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）として、「実用的な英語力を向上させるとともに、幅広い教養を身につけ、国際社会の舞台で活躍するキャリア形成をめざす強い意志を持つ人」「英語力の向上、人文科学、社会科学における専門性に関する基礎学力などを身につけ、学士教育課程への編入学をめざす強い意志を持つ人」という「求める人材像」2点と、一般入試及び特別入試それぞれの「評価方法」を定めている。

学生の受け入れ方針は、各種『入学試験要項』及び『入学手続要項』に記載するとともに、ホームページに掲載することで周知、公表しているほか、オープンキャンパスや高等学校訪問、入試相談会などで説明を行っている。

入学者選抜及び学生募集については、公正かつ適切に実施できるよう学長以下、副学長、入試ディレクター、教務部長、学生部長等で構成する「入試委員会」において審議し、審議結果を学長に報告のうえ、了承を得て実施している。入学試験は「一般入試」「公募制推薦入試」「大学入試センター試験利用入試」「指定校制推薦入試」「社会人特別入試」「帰国生徒特別入試」を実施している。各入学試験とも、入学時点において短期大学教育を受けるために必要な基礎学力を求めており、それぞれの入学試験の特色に応じ、書類選考、筆記試験、面接試験を実施しながら、学生の受け入れ方針に沿って入学者を選抜している。

定員管理については、過去5年間の入学定員に対する入学者数比率の平均及び収容定員に対する在籍学生数比率はともに適正である。

入学前教育については、合格発表から入学までの間、学習意欲の維持・向上、高等学校での学習内容の再確認、及び入学後の学修に備えた基礎学力等の向上を目的に「eラーニングによる学修（英語）」を入学試験合格者全員を対象に行っている。特別入試、公募制推薦入試1次手続者のうち、希望者にはDVDを配付し、事前学習を促す「DVD学習講座」を実施しているほか、短期大学部教員が勧める図書を紹介している。

学生の受け入れの適切性については、各入学試験終了時に「入試委員会」が「専門別自己点検・評価委員会」として点検・評価し、その結果をもとに「自己点検・

評価委員会」が必要な改善を指示している。

6 学生支援

<概評>

学生支援については、「建学の理念」「外大ビジョン」を踏まえて、「①学の研鑽、②国際人としての自覚、③国際貢献、④人間力の涵養、⑤地域参画」の5点から構成される「関西外大入行動憲章」に基づく自立した安全な学生生活を送れるよう、学生部を中心に全学体制で援助・指導を行っている。しかしながら、学生支援に関する基本方針については明文化されていないため、今後の策定が望まれる。

修学支援として、教務部で留年者を把握し、クラス担任に連絡のうえ、必要な場合には保護者を含めて面談を行っている。各学期の専門必修科目のうち2科目以上を修得できなかった学生に対しては、本人及び保護者に対して成績を郵送のうえ、クラス担任が面談を行っている。また、クラス担任は「K. G. C. ベーシックス」を担当していることから、学生は正課内外を問わずクラス担任に相談ができるようになっている。なお、専門必修科目の出席が不良な学生について、卒業の見込みが無いと判断された場合は履修規程に基づき退学勧奨を行うこともある。

補習・補充教育として、英語基礎学力が不足する学生には「パワーアップ講座」を、進級や卒業の見込みがある学生には、次年度の学修や編入学後の学修を支援する追加学修プログラムである「ウィンタープログラム」を開設している。

障がいのある学生に対しては、「障がいのある学生の受入れ方針」に従い、担任教員、教務部、学生部、入試広報企画部など関連部署が協議し、必要な援助を行っている。

経済的な支援としては、公的機関等による奨学金のほか、「谷本国際交流奨学金」「活性化奨学基金」「谷本学業継続緊急支援奨学金」などの独自の奨学金制度を設けている。

学生の生活支援については、学生部による入学時の「学生部オリエンテーション」や進級時の「在学生ガイダンス」等を実施しているほか、学生相談室に専任スタッフ、専任教員、非常勤教員、非常勤スタッフを置き、大学生活における相談に対応している。また、各種ハラスメントの防止については、学生部が行うガイダンスにおいて注意を促すとともに、セクシュアルハラスメントについては、「セクシュアルハラスメント等の防止等に関する規程」に基づき対応をしている。

進路支援については、キャリアセンターにおいて、学生のキャリア形成、就職支援、進路指導を本人の進路希望を確認しつつ、教員で構成される「進路指導委員会」と連携し、教職員一体となり支援を行っている。また、キャリア形成支援教育とし

て、「K. G. C. ベーシックス」において、1年次にはキャリア形成を図るためのライフプランニングや適性検査・時事問題等の学修を行っているほか、2年次には「プレゼンテーション授業」等を実施し、社会人基礎力の向上に向けた取組みを行っている。

学生支援の適切性については、「学生部委員会」が「専門別自己点検・評価委員会」として点検・評価し、その結果をもとに「自己点検・評価委員会」が必要な改善を指示している。

7 教育研究等環境

<概評>

教育研究等の環境整備については、「関西外大ルネサンス 2009」の整備事業として第1期から第12期の一連の計画に従い実施している。整備事業の詳細はホームページ及びデジタルパンフレットに掲載している。なお、「関西外大ルネサンス 2009」は2018（平成30）年度までの計画であるほか、施設整備がその主たる内容となっていることから、今後はより広義の学生の学修、教員の教育研究の環境整備に関わる方針の策定が望まれる。

校地面積・校舎面積とも短期大学設置基準を大幅に上回っており、教育研究用の施設・設備のほか運動場を十分確保している。施設設備の維持管理については、「施設等管理規程」等に基づき管理体制を整えている。なお、キャンパスは併設大学と共有している。

校舎の耐震性については、建築基準法施行令の地震力に耐える耐震構造であり、消防設備機器の点検のほか、自衛消防隊を組織し、消防設備点検委託先業者とともに避難訓練を実施している。加えて、独自の必修科目である「K. G. C. ベーシックス」の授業内において、学生・教職員を交えた防災訓練が行われている。さらに、バリアフリーについても適切に整備されている。

施設設備の衛生安全の確保については、月1回の「衛生委員会」において調査、審議、対策等を実施している。

図書館学術情報センターの事務組織は図書館部門及び情報部門からなり、センター長、副センター長及び職員を配置している。また、短期大学部における学術情報基盤の整備・運営に関する重要事項を審議する「図書館学術情報センター運営委員会」が設置されている。図書館の開館時間等については、学生の学習に配慮した利用環境が整備されており、蔵書についても、多種多様かつ相当数あり、学生から随時、図書購入希望を受け付ける制度を設けているほか、学術情報へのアクセスも充実している。さらに、学生用パソコンについても設置しているほか、貸出用も配備

している。さらに、ほぼキャンパス全域で学術情報を得るために必要な無線LANの構築がなされるなど、通信環境も整っている。

教員の研究活動に関する環境については、教育研究費及び旅費が「教員研究費・研究旅費支給規程」に基づき支給され、各支給枠の相互流用など柔軟な利用が認められており、概ね適切である。また、専任教員の研究室の整備状況については、個室が割り当てられており、研究活動に必要な整備が整っている。研究専念時間の設定についても、就業規則に定める「みなし労働時間制」を適用し、週4日の出講を原則とし、学外又は自宅で研究に専念できるようにしている。

研究倫理に関しては、「学術研究に係る不正行為の防止等に関する規則」に遵守事項を定め、厳正な管理を行っている。2014（平成26）年には「競争的資金等の使用に関する行動規範」を改訂・施行し、学内外に周知している。このほか、人を対象とする研究の倫理ガイドラインも定められている。これらについては新任教員研修会、各年度初めの教授会及び科学研究費助成事業に関する説明会の際に、「研究倫理について」という議題を設け、説明を行うことで研究倫理に対する意識向上に努めている。また、学内研究審査機関として、「関西外国語大学研究審査委員会」を設置している。

教育研究等環境の適切性については、「図書館学術情報センター運営委員会」が「専門別自己点検・評価委員会」として点検・評価し、その結果をもとに「自己点検・評価委員会」が必要な改善を指示している。

8 社会連携・社会貢献

<概評>

社会連携・社会貢献についての方針は、中長期ビジョン「関西外大ルネサンス2009」の中の「外大ビジョン」に「地域パートナー『グローカリズム』の実践」として設定されている。これと合わせ「関西外大入行動憲章」の「地域参画」の項において「自らの知識や能力、ならびに大学の教育資源を生かし、拠って立つ地域の文化的、教育的発展に貢献」することを掲げている。これらの方針はホームページ等に掲載することで共有している。

方針に沿って、国際文化研究所やイベロアメリカ研究センターが主催する各種公開講座や、コンサートなどを通じて、併設大学と合同で教育研究の成果を地域社会に還元しているほか、短期大学部が立地する枚方市と包括協定を結んでおり、諸事業に参加している。

短期大学部独自の取組みとしては、市立ひらかた病院と提携し、病院のイメージアップと問題解決を目指す交流企画を実施している。また、市の教育委員会でのイ

ンターシップを実施することで、教育面でも連携を深めており、地域社会との連携を図っている。以上のように、学生に対する教育の充実を図りながら枚方市と密接な関係づくりを進めている。なお、学生に負担がかからないように自治体や地域住民からの依頼については、2017（平成 29）年度より学生部が窓口となり対応を行っている。

社会連携・社会貢献の適切性については、国際文化研究所やイペロアメリカ研究センター等各取組みの実施主体が点検・評価している。今後は各研究所・センターが実施する社会連携・社会貢献活動が短期大学部総体として適切であるか否かについて、点検・評価を行うよう、取組みに期待したい。

9 管理運営・財務

(1) 管理運営

<概評>

管理運営方針については、「外大ビジョン」「関西外大行動憲章」を踏まえ、「本学の教育・研究活動の発展のため、安全かつ適切な教育研究環境と経済的基盤を整備し、迅速で公正な手続のもと効率化と付加価値向上を目指す観点から改善を進め、継続的な教学改革を支援し、社会的説明責任を果たす健全な管理運営」を行うことを基本方針とし、学長が教授会、教員連絡会議、部課長会、年頭所感等の場で方針を明示している。

短期大学部を統督する学長のもとに固有の教授会、教員役職者会、各種委員会等を置き、完結した意思決定システムを構築しており、管理運営方針に基づき適切な規程を整備し、規程に則った管理運営を行っている。

事務組織については、関西外国語大学の事務組織と区分することなく学生全体に一体的に責任をもつ総合的な事務体制が整備されており、大学生、短期大学部生に固有または共通のサービスを行っている。また、各事務組織の主な業務内容は「事務組織分掌規程」に定めており、事務組織の責任体制を明確にしている。

事務職員の採用に際しては、就業規則の第 3 章第 1 節の規定に基づき、「事務職員募集要項」により公募され、人物選考、学力考査、健康診断等を経て選考されている。また職員の昇任に関しては、「事務職員昇任選考内規」に基づき、人物、職務遂行能力、統率指導力等を勘案して、厳正かつ公正に実施している。

「SD委員会」が検討するSD研修については、年間計画をもとに、基本課題についての研修会を企画し、さらに適宜課題に応じた研修会を設定している。これにより、職員の大学マネジメント能力や大学を取り巻く環境についての理解度が向上し、職員レベルの平準化の足がかりとなってきた。しかし、教員の参加率が低

いため、今後は教職協働による大学運営を適切に行うことができるよう、教員のSD参加率の向上が望まれる。

なお、管理運営に関する点検・評価として、規程については、すべての委員会が規程と実態の乖離等について日常的な検証を行い、改善に努めている。また、組織の管理・運営の適切性については、部課長会が「専門別自己点検・評価委員会」として点検・評価し、その結果をもとに「自己点検・評価委員会」が必要な改善を指示している。

(2) 財務

<概評>

財政状況について、短期大学部門では、活動区分収支計算書及び事業活動収支計算書ともに、直近3カ年における各科目の推移に問題は見られない。特に、事業活動収支計算書によれば経常収支差額が経常収入の約4分の1を占めており、良好な状態が続いている。また、法人全体でも、「要積立額に対する金融資産の充足率」は高い水準を維持し、かつ、借入金もないことから、教育研究活動を安定して遂行するために必要な財務基盤を確立しているといえる。

予算配分及びその執行プロセスについては、予算を計上している項目に対して、執行時に内容を改めて精査するなど経費削減に対する具体的な努力を行っている。一方、予算を計上していない項目に対しても、内容を吟味した上で必要に応じて、理事長決済により執行できる体制を整備しており、柔軟な予算執行を可能としている。また、監査法人及び監事による監査は、適切かつ客観的に行われている。

法人全体として、2020（令和2）年度までの特定資産と事業活動収支（消費収支）の具体的な数値目標を示した財政計画を策定しているものの、同計画は2018（平成30）年度を期限とする法人の中・長期計画「関西外大ルネサンス2009」に基づくものであるため、新たな中・長期ビジョンや計画に基づく中・長期の財政計画の策定が望まれる。また、短期大学部門としては、主な財務関係比率を算出しているのみで、それらに関する目標を明確にしていなかったため、財務関係比率に関する数値目標を明示した短期大学部独自の中・長期財政計画を策定することが望まれる。

財政運営にあたっては、国際交流基金、特待生奨学基金、入学時支援奨学金などの給付型の基金に対して、積極的に特定資産の積立を図っており、学生が経済的な憂慮なく学ぶことができる環境を整えている。そのほか、科学研究費補助金に関し、2013（平成25）年度より申請した教員に対して学内研究費の増額と特別研究奨励金を支給する取組み等を開始している。これを受けて、2013（平成25）年度から2017（平成29）年度の間申請件数は倍増しており、取組みが有効に機能していること

が認められる。しかし、採択件数は毎年ほぼ1名という結果が続いているため、さらなる研鑽が期待される。

10 内部質保証

<概評>

内部質保証の方針として、「教育研究水準の向上を図り、その目的および社会的使命を達成するため、学校教育法第109条第1項に規定する教育研究等の状況について自ら点検および評価を行い、その結果を公表する」ことを学則に定め、自己点検・評価に関する実施体制、実施方法、結果の活用等については「自己点検・自己評価実施要項」に明記している。

これらの方針に基づいて、自己点検・評価を統括する責任組織として、学長を委員長とする「自己点検・評価委員会」を設置し、自己点検・評価活動の推進のために、事務局に「IR・大学評価部」を置いている。また、「自己点検・評価委員会」のもとには、事務部門・教学部門2種類の「専門別自己点検・評価委員会」を設置している。教学部門については、学則に規定する委員会ごとに、事務部門については、「事務組織分掌規程」に規定する事務組織（部署）ごとに設け、所管する分野における活動の点検・評価を行っている。

「自己点検・評価委員会」は、「専門別自己点検・評価委員会」が点検・評価を行った「業務課題報告シート」又は「委員会まとめ」の結果を「自己点検・評価のまとめ」として取りまとめ、改善の方向性を検討したうえで、理事会に報告し、理事会はそれを次年度の事業計画に反映している。また、「自己点検・評価委員会」から各部署に改善に向けたフィードバックが行われるほか、複数の委員会で協働して対応すべき課題については、学長の指示のもと、副学長が中心となって関係役職者と役割を分担しながら取り組む体制となっている。

自己点検・評価活動を通じて、2017（平成29）年度には教育成果の評価指標としての「ルーブリック」の導入、「短期大学部自己点検・評価委員会規程」の整備等、を行っている。また、前回（2012（平成24）年度）の認証評価における指摘事項については、概ね適切に対応している。内部質保証の妥当性を高めるために、外部評価や学外者からの意見聴取の導入を今後の課題としていることから、質保証システムの更なる充実に向けて取り組むことを期待したい。

情報公開については、「教育情報等の公開に関する規程」の中で、教育情報及び財務情報の公開方法や項目、責任者とその責務等を定め、必要なデータをホームページで公表している。あわせて、ホームページには自己点検・評価の結果を掲載している。

以上

関西外国語大学短期大学部提出資料一覧

資料の名称
点検・評価報告書
短期大学基礎データ

根拠資料		
基準	資料の名称	資料番号
0 序章	関西外国語大学短期大学部自己点検・評価実施要項	序-1
	学校法人関西外国語大学質保証概念図	序-2
	教育情報の公開 (短期大学部ホームページ)	序-3
	http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/publication/	
	『Global Commons 結—YUI—』パンフレット	序-4
	「建学の理念と外大ビジョン・6つの柱」「関西外大入行動憲章」 (短期大学部ホームページ)	序-5
	http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/principle/renaissance/	
	認証評価結果及び自己点検・評価 (短期大学部ホームページ)	序-6
	http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/assessment/	
	機関誌『高等教育研究論集 第7号』	序-7
	関西外国語大学短期大学部教務委員会規程	序-8
	関西外国語大学短期大学部教授会規程	序-9
	関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部教員連絡会議規程	序-10
	短期大学部 退学率	序-11
	関西外国語大学短期大学部学則	序-12
	関西外国語大学短期大学部履修規程	序-13
	関西外国語大学短期大学部教員役職者会規程	序-14
	K. G. C. (短期大学部) 自己評価学修ルーブリック	序-15
	「短期大学部K. G. C. ベーシックスFD研修会」の開催	序-16
	学習支援センターの開設	序-17
	英語リメディアル教育「パワーアップ講座」の実施について	序-18
	研究論集 No.107	序-19
	論集委員会規程	序-20
	The Journal of Intercultural Studies (短期大学部ホームページ)	序-21
	http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/center/irs/publications/	
	関西外国語大学国際文化研究所規程	序-22
	イベロアメリカ研究センター (短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/center/ibero/)	序-23
	関西外国語大学イベロアメリカ研究センター規程	序-24
	教職研究・実践集録第11号	序-25
	関西外国語大学教職教育センター規程	序-26
	人権教育思想研究所 (短期大学部ホームページ)	序-27
関西外国語大学人権教育思想研究所・人権教育思想研究委員会規程	序-28	
「IRI言語・文化研究フォーラム」・「IRI言語・文化コロキウム」	序-29	
関西外国語大学短期大学部ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会規程	序-30	
関西外国語大学短期大学部自己点検・評価委員会規程	序-31	
1 理念・目的	関西外国語大学短期大学部学則	1-1
	リーフレット「建学の理念と外大ビジョン・6つの柱」「関西外大入行動憲章」	1-2
	学部、研究科等における人材養成目的及び3つのポリシー (http://www.kansaigaidai.ac.jp/common/pdf/academics.college.vision.3policy_college.pdf)	1-3
	関西外国語大学短期大学部自己点検・評価実施要項	1-4
	各種規程	1-5
	関西外大の二世紀	1-6
	授業計画 (K. G. C. ベーシックス)	1-7
	「関西外大づくり38年」～若者の夢を育てて～	1-8

	K. G. C. (短期大学部) 自己評価学修ルーブリック 学校法人関西外国語大学質保証概念図 卒業生進路状況(過去5年間) 2017年度学位記授与式 式次第 能動的学修の推進におけるPBLの役割Ⅱ 全国外大連合「通訳ボランティア育成セミナー」	1-9 1-10 1-11 1-12 1-13 1-14
2 教育研究 組織	学校法人関西外国語大学教育研究組織図 教育情報の公開 (短期大学部ホームページ http://www.kansai.ac.jp/info/disclosure/publication/) 関西外国語大学短期大学部履修規程 短期大学部留学プログラム (http://www.kansai.ac.jp/international/affiliation/prglist/college/) 学部、研究科等における人材養成目的及び3つのポリシー (http://www.kansai.ac.jp/common/pdf/academics.college.vision.3policy_college.pdf) 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部図書館学術情報センター規程 関西外国語大学国際文化研究所規程 関西外国語大学人権教育思想研究所・人権教育思想研究委員会規程 関西外国語大学教職教育センター規程 関西外国語大学イベロアメリカ研究センター規程 学校法人関西外国語大学質保証概念図 2017年度授業評価結果-The Gaidai. No. 294- 平成29年度授業評価結果考察一覧 卒業生進路状況(過去5年間) K. G. C. (短期大学部) 自己評価学修ルーブリック	2-1 2-2 2-3 2-4 2-5 2-6 2-7 2-8 2-9 2-10 2-11 2-12 2-13 2-14 2-15
3 教員・教員 組織	各種方針 学校法人関西外国語大学教育職員の採用と職位の決定に関する規程 関西外国語大学短期大学部教育職員の資格の基準に関する内規 関西外国語大学短期大学部教授会規程 関西外国語大学短期大学部教員役職者会規程 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学 教員役職者の職務等に関する規程 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部教員連絡会議規程 関西外国語大学全学教務委員会規程 関西外国語大学短期大学部教務委員会規程 関西外国語大学短期大学部学修コーディネーション・コミッティ規程 関西外国語大学短期大学部学生部委員会規程 関西外国語大学短期大学部進路指導委員会規程 関西大学短期大学部入試委員会規程 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部国際交流委員会規程 関西外国語大学短期大学部教育実習委員会規程 教員情報 (短期大学部ホームページ https://rapport2.kansai.ac.jp/syllabus/GUSW3000Login.do) 教育職員年齢構成 専門必修科目専任教員担当比率 学校法人関西外国語大学 教育職員人事委員会規程 機関紙『関西外大FD NEWSLETTER』 機関誌『高等教育研究論集 第7号』 「短期大学部K. G. C. ベーシックスFD研修会」の開催 学校法人関西外国語大学テニユア・トラック制に関する規程 「ベストティーチャー賞」に関する内規 学校法人関西外国語大学事務組織分掌規程 2017年度授業評価結果-The Gaidai. No. 294- K. G. C. (短期大学部) 自己評価学修ルーブリック	3-1 3-2 3-3 3-4 3-5 3-6 3-7 3-8 3-9 3-10 3-11 3-12 3-13 3-14 3-15 3-16 3-17 3-18 3-19 3-20 3-21 3-22 3-23 3-24 3-25 3-26 3-27
4 教育内容・ 方法・成果	(1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針 関西外国語大学短期大学部学位規程 関西外国語大学短期大学部学則 関西外国語大学短期大学部履修規程 能動的学修の推進におけるPBLの役割Ⅱ	4-(1)-1 4-(1)-2 4-(1)-3 4-(1)-4

	英語リメディアル教育『パワーアップ講座』の実施について 過去3年間の就職ガイダンス実施状況 卒業生進路状況(過去5年間) 短期大学部過去3年間の業種別就職先比率 K. G. C. (短期大学部) 自己評価学修ループリック	4-(1)-5 4-(1)-6 4-(1)-7 4-(1)-8 4-(1)-9
	(2) 教育課程・教育内容 履修マニュアル 各種規程 「K. G. C.」テキスト 短期大学部留学プログラム (http://www.kansai-gaidai.ac.jp/international/affiliation/prglist/college/) 卒業生進路状況(過去5年間) K. G. C. (短期大学部) 自己評価学修ループリック 平成30年度(2018)短期大学部時間割表	4-(2)-1 4-(2)-2 4-(2)-3 4-(2)-4 4-(2)-5 4-(2)-6 4-(2)-7
	(3) 教育方法 履修マニュアル 能動的学修の推進におけるPBLの役割Ⅱ レポート操作ガイド 2017年度授業評価結果-The Gaidai. No. 294- 関西外国語大学短期大学部履修規程 関西外国語大学短期大学部学修コーディネーション・コミッティ規程 短期大学部K. G. C. ベーシックスFD研修会の開催 平成29年度授業評価結果考察一覧 授業計画 (K. G. C. ベーシックス) K. G. C. (短期大学部) 自己評価学修ループリック 科目等履修生規程 留学規程	4-(3)-1 4-(3)-2 4-(3)-3 4-(3)-4 4-(3)-5 4-(3)-6 4-(3)-7 4-(3)-8 4-(3)-9 4-(3)-10 4-(3)-11 4-(3)-12
	(4) 成果 卒業生進路状況(過去5年間) 新入生クラス編成テスト (u-CAT)・指定TOEFLの結果について 3年次編入学 短期大学部からの合格者数 2017年4月3日全学教務委員会議事録 2017年4月12日教員連絡会議事録 関西外国語大学短期大学部学則 関西外国語大学短期大学部学位規程 関西外国語大学短期大学部試験規程 K. G. C. (短期大学部) 自己評価学修ループリック レポート操作ガイド 平成29年度授業評価結果考察一覧 英検・TOEIC受験奨励制度について	4-(4)-1 4-(4)-2 4-(4)-3 4-(4)-4 4-(4)-5 4-(4)-6 4-(4)-7 4-(4)-8 4-(4)-9 4-(4)-10 4-(4)-11 4-(4)-12
5 学生の受け入れ	教育情報の公開 (短期大学部ホームページ http://www.kansai-gaidai.ac.jp/info/disclosure/publication/) 長期履修学生規程 関西外国語大学短期大学部特別入試社会人B方式規程 2018年度入学試験要項 (公募一般) 2016-2017年度オープンキャンパス参加者数 第3回 OPEN CAMPUS 2018年度入学試験要項 (特別入学試験) 入学前教育の実施について	5-1 5-2 5-3 5-4 5-5 5-6 5-7 5-8
6 学生支援	リーフレット「建学の理念と外大ビジョン・6つの柱」 「関西外大入行動憲章」 2018 学生生活について 英語リメディアル教育「パワーアップ講座」の実施について 『Winter Program』履修者の募集について 各種方針 各種奨学金奨学生数について 関西外国語大学谷本国際交流奨学金規程	6-1 6-2 6-3 6-4 6-5 6-6 6-7

	<p>関西外国語大学短期大学部活性化奨学基金規程 6-8</p> <p>関西外国語大学谷本学業継続緊急支援奨学金規程 6-9</p> <p>関西外国語大学グローバル人材育成特待生奨学金規程 6-10</p> <p>関西外国語大学短期大学部特別入試社会人B方式規程 6-11</p> <p>関西外国語大学谷本入学時支援奨学金規程 6-12</p> <p>関西外国語大学荒川化学・戸毛敏美奨学金規程 6-13</p> <p>関西外国語大学同窓会奨学金規程 6-14</p> <p>関西外国語大学課外活動支援奨学金規程 6-15</p> <p>関西外国語大学谷本災害給付奨学金規程 6-16</p> <p>学校法人関西外国語大学セクシュアルハラスメント等の防止等に関する規程 6-17</p> <p>過去3年間の就職ガイダンス実施状況 6-18</p> <p>卒業生進路状況(過去5年間) 6-19</p> <p>短期大学部過去3年間の業種別就職先比率 6-20</p> <p>CDA(短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/special/gp/gp2009_college/college02_info.html) 6-21</p> <p>関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部 学生細則 6-22</p> <p>関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部 学生懲戒規程 6-23</p> <p>関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部 授業料その他納付金規程 6-24</p>	
7 教育研究等 環境	<p>関西外大ルネサンス 2009 整備事業 7-1</p> <p>学校法人関西外国語大学 施設等管理規程 7-2</p> <p>2017年度情報セキュリティ委員会活動報告 7-3</p> <p>防災の手引き(抜粋) 7-4</p> <p>教室毎の避難経路 7-5</p> <p>関西外国語大学危機管理マニュアル 7-6</p> <p>衛生委員会のスポット議題について 7-7</p> <p>関西外国語大学・関西外国語短期大学部 図書館学術情報センター規程 7-8</p> <p>図書、資料の所蔵数 7-9</p> <p>分類別蔵書統計 7-10</p> <p>研究論集・日本語教育論集(短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/center/library/theseslib/) 7-11</p> <p>The Journal of Intercultural Studies(短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/center/irs/publications/) 7-12</p> <p>人権教育思想研究所(短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/center/humanrights/) 7-13</p> <p>学校法人関西外国語大学 教員研究費 研究旅費支給規程 7-14</p> <p>「ベストティーチャー賞」に関する内規 7-15</p> <p>研究支援サポート(短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/help/research/grantsinaid/) 7-16</p> <p>関西外国語大学 学術研究に係る不正行為の防止等に関する規則 7-17</p> <p>競争的資金等の管理・監査規程 7-18</p> <p>科学研究費助成事業申請(2019年度交付分)のスケジュール等について 7-19</p> <p>「人を対象とする研究」倫理ガイドライン 7-20</p> <p>図書館利用案内 7-21</p>	
8 社会連携・ 社会貢献	<p>関西外大ルネサンス 2009(短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/special/renaissance/ja/) 8-1</p> <p>学校法人関西外国語大学と枚方市との連携協力に関する協定書 8-2</p> <p>国際文化研究所 (短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/center/irs/) 8-3</p> <p>イベロアメリカ研究センター(短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/center/ibero/) 8-4</p> <p>関西外国語大学吹奏楽部サマーコンサート 8-5</p> <p>枚方市ホームページ(https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000009321.html、学 園都市ひらかた推進協議会) 8-6</p> <p>枚方フェスティバル協議会ホームページ (http://www.hirakata-festival.com/matsuri.html、枚方まつり) 8-7</p> <p>公益財団法人枚方市文化国際財団ホームページ、ひらかた多文化フェスティバル (http://www.hirabunkoku.or.jp/tabunka.html) 8-8</p>	

	枚方市ホームページ (https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000011259.html 、枚方子どもいきいき広場について) 市立病院のイメージアップ-The Gaidai. No. 291-	8-9 8-10
9 管理運営・財務	(1) 管理運営 各種方針 「建学の理念と外大ビジョン・6つの柱」 「関西外大入行動憲章」 (http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/principle/renaissance/) 関西外国語大学短期大学部学長選考規程 関西外国語大学短期大学部学則 関西外国語大学短期大学部教授会規程 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部教員連絡会議規程 関西外国語大学短期大学部副学長任用に関する規程 関西外国語大学短期大学部 教員役職者会規程 関西外国語大学全学教務委員会規程 関西外国語大学短期大学部教務委員会規程 関西外国語大学短期大学部学修コーディネーション・コミッティ規程 関西外国語大学短期大学部学生部委員会規程 関西外国語大学短期大学部進路指導委員会規程 関西大学短期大学部入試委員会規程 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部国際交流委員会規程 関西外国語大学短期大学部教育実習委員会規程 学校法人関西外国語大学事務組織分掌規程 学校法人関西外国語大学 施設等管理規程 学校法人関西外国語大学 資産運用規程 事務職員昇任選考内規 学校法人関西外国語大学 スタッフ・デベロップメント(SD)委員会規程 2017年度SD研修概要 2017年度SD(出張報告会)スケジュール 人権問題研修会の開催について 人権問題学習会 個人情報保護・情報セキュリティ研修会について 学校法人関西外国語大学寄付行為 理事会名簿 関西外国語大学短期大学部学長選考規程	9-(1)-1 9-(1)-2 9-(1)-3 9-(1)-4 9-(1)-5 9-(1)-6 9-(1)-7 9-(1)-8 9-(1)-9 9-(1)-10 9-(1)-11 9-(1)-12 9-(1)-13 9-(1)-14 9-(1)-15 9-(1)-16 9-(1)-17 9-(1)-18 9-(1)-19 9-(1)-20 9-(1)-21 9-(1)-22 9-(1)-23 9-(1)-24 9-(1)-25 9-(1)-26 9-(1)-27 9-(1)-28 9-(1)-29
	(2) 財務 財務関係書類 (フォルダ) 「財務計算書類」 「監事監査報告書」 「監査法人監査報告書」 2017 (平成29) 年度事業報告書 財産目録 5ヵ年連続資金収支計算書(短期大学部門) (2014(平成26)年度まで [資料9]) 5ヵ年連続資金収支計算書(短期大学部門) (2015(平成27)年度以降) [資料9-2] 5ヵ年連続資金収支計算書(法人全体) (2014(平成26)年度まで) [資料10] 5ヵ年連続資金収支計算書(法人全体) (2015(平成27)年度以降) [資料10-2] 5ヵ年連続消費収支計算書(短期大学部門) (2014(平成26)年度まで) [資料11] 5ヵ年連続事業活動収支計算書(短期大学部門) (2015(平成27)年度以降) [資料11-2] 5ヵ年連続消費収支計算書(法人全体) (2014(平成26)年度まで) [資料12] 5ヵ年連続事業活動収支計算書(法人全体) (2015(平成27)年度以降) [資料12-2] 5ヵ年連続貸借対照表 (2014(平成26)年度まで) [資料13] 5ヵ年連続貸借対照表 (2015(平成27)年度以降) [資料13-2]	9-(2)-1 9-(2)-2 9-(2)-3 9-(2)-4 同上 同上 同上 9-(2)-5 同上 同上 同上 9-(2)-6 同上
10 内部質保証	関西外国語大学短期大学部自己点検・評価委員会規程 関西外国語大学短期大学部 自己点検・評価実施要項 認証評価結果及び自己点検・評価 (短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/assessment/) 第5集 教育研究年報 第5集 短期大学部編 (平成24年度) (http://www.kansaigaidai.ac.jp/common/pdf/info_disclosure_assessment.10.pdf) 短期大学部自己点検・自己評価委員会議事録要旨 学校法人関西外国語大学教育情報等の公開に関する規程	10-1 10-2 10-3 10-4 10-5 10-6

	教育情報の公開（短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/publication/)	10-7
	財務情報（短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/financial/)	10-8
	学校法人関西外国語大学質保証概念図	10-9
	関西外国語大学短期大学部学則	10-10
	2017年度 進路指導委員会活動報告書	10-11
	2017年度 業務課題報告シート	10-12
	2017年5月20日理事会議事録	10-13
	2017年6月14日教員役職者会議事録	10-14
	2017年6月27日部課長会議議事録	10-15
	2018年2月14日自己点検・評価委員会議事録	10-16
	2017年度自己点検・評価活動のまとめ	10-17
	2018年2月26日理事会議事録	10-18
	2018年5月12日理事会議事録	10-19
	2018年5月14日部課長会議議事録	10-20
	2019年5月16日教員役職者会議事録	10-21
	2019年2月14日自己点検・評価委員会議事録	10-22
	2018年度自己点検・評価活動のまとめ	10-23
	2019年2月27日理事会議事録	10-24
	K. G. C.（短期大学部）自己評価学修ルーブリック	10-25
	学校法人関西外国語大学の内部質保証に関する方針について（2018年2月26日理事会確認）	10-26
終章	大学案内「歴史」（短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/principle/history/)	終-1
	学校法人関西外国語大学質保証概念図	終-2
	教育情報の公開（短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/publication/)	終-3
	財務情報（短期大学部ホームページ http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/disclosure/financial/)	終-4
	『Global Commons 結—YUI—』パンフレット	終-5
	「建学の理念と外大ビジョン・6つの柱」「関西外大入行動憲章」 (http://www.kansaigaidai.ac.jp/info/principle/renaissance/)	終-6
	学校法人関西外国語大学 規程集フォルダ（全規程収録）	終-7
	大学案内2018	終-8